



ほけんだより



きらら保育園 2020.7月

梅雨に入り、暑かったり寒かったり・・・と、不安定なお天気が続きますね。保育園内では6月は時々発熱や腹痛でお休みするお子さんがいましたが広がりはありませんでした。これから暑くなり水を使った活動が出てきます。楽しみですね。



体調不良による保育園お休みの目安について このような症状の時は登園を控え、ご家庭にて様子みてください



発熱	<ul style="list-style-type: none"> * 発熱期間と同日の回復期が必要 ・ 朝から 37.5℃を越えた熱とともに元気がなく機嫌が悪い ・ 食欲がなく朝食、水分がとれていない ・ 24時間以内に解熱剤を使用している ・ 24時間以内に 37.5℃以上 の熱が出ていた →新型コロナウイルス対策として * 1歳以下の乳児の場合 (上記のことにプラスして) ・ 平熱より 1℃以上高いとき 	<p>下痢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に2回以上の水様便がある ・ 食事や水分を摂ると下痢がある (1日に4回以上の下痢) ・ 下痢に伴い体温がいつもより高めである ・ 朝、排尿がない ・ 元気がなく、ぐったりしている
	咳	<p>嘔吐</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間以内に2回以上のおう吐がある ・ おう吐に伴い体温がいつもより高めである ・ 食欲がなく水分も欲しがらない ・ 機嫌が悪く、元気がない ・ 顔色が悪く、ぐったりしている
<ul style="list-style-type: none"> * 前日に発熱がなくても ・ 夜間しばしば咳のために起きる ・ 喘鳴や呼吸困難がある ・ 37.5℃以上の熱を伴っている ・ 元気がなく機嫌が悪い ・ 食欲がなく朝食、水分が摂れていない ・ 少し動いただけで咳が出る 		<p>発疹</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発熱とともに発疹のあるとき ・ 今までになかった発疹が出て感染症が疑われ、医師より登園を控えるよう指示されたとき ・ 口内炎のため食事や水分が取れないとき <p>★病院受診により医師が呼吸器症状などの症状が感染性のものと判断した場合は登園可能です。 ★体調不良により、集団保育では疲れてしまう場合は病後児保育室をご利用下さい。</p>

・ 低年齢児は一般的に体温が変動しやすいです。保育園では体温の数値だけで判断せず、その他の症状や機嫌、園内での感染状況も考慮し保護者の方へ相談やお迎えの依頼をお願いすることがあります。ご協力をお願いします。

～ 夏に流行する感染症 ～

ヘルパンギーナや手足口病、アデノウイルスなど、口腔内に水泡ができたり、喉が腫れて食事が摂れなかったりすることがあります。ご家庭でプリンやゼリー、冷めたおじややお豆腐等、のど越しが良く、刺激にならない食事を取り、脱水予防の為にこまめに水分摂取をしてください。感染後、初めての登園時には「感染症病状確認書」や「登園許可書」が必要な疾患がありますのでご注意ください。病後児保育室「ひかり」ではこういった食事の配慮が必要なお子さんに対して配慮した食事を提供することができます。特に脱水の心配がありますので、食事が完食できていない時は「ひかり」をご利用し、ワンクッションおいてから通常保育に登園下さい。

病後児保育室の利用について

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として当面の間、下記の対応をします。
- ・ **受け入れ人数の制限**：2名まで
- ・ ケガの利用の方はご相談下さい。発熱などの利用者さんと一緒にの利用は避けます。先に利用されている方が優先となります。
- ・ **受け入れ時**：体温 37.5℃以下
- ・ 病後児保育室ひかり利用状況 (2020.5.21～6.20)
- ・ 利用人数：8人(きらら保育園：2人 きらら保育園以外：5人 小学校：1人)
- ・ 症状別 急性上気道炎：5人 咽頭炎：2人 喘息・喘息様気管支炎：1人